



出小だより

<http://izumo-es.izumozaki.ed.jp/>
E-mail izumo-es@izumozaki.ed.j

出雲崎小学校だより No.7
令和2年11月6日

よく見ると…

10月の始めには、まだ長袖を着るのに抵抗があったのに、いつの間にかコートが必要なくらいの寒さになりました。最近の日本は春と秋が短いと言われていますが、本当にあつという間に冬が身近にやってきたと感じています。グラウンドやほなみが丘の木々も一気に紅葉が進み、学校の周囲を美しく彩っています。

ところで、紅葉というは何色を思い浮かべるでしょうか。やはり赤とか黄、茶などの色かと思えます。ですが、近くで葉の1枚1枚を見ると、緑あり、灰色あり、中には緑から黄を経て赤になりかけという1枚でグラデーションになっている葉もありと、様々な色があることに気がきます。私たちは遠くから「あの木は赤色」「あの木は黄色」と画一的に見ていますが、近くによれば1枚1枚の葉がそれぞれ別の色をしていることが分かります。

話は変わりますが、廊下に子供達の絵の力作が掲示されています。やはりよく見ると描かれた椅子や廊下、空の色などは、どれも陰影を伴った様々な色が入っています。様々な色を感じ取る子供達の感性と描画の技術に感心すると同時に、椅子=茶色と画一的に見ていた自分の頭の硬さに気付かされます。

これらのことは子供達を見る姿勢にも当てはまります。普段、私たちはともすると個々をよく見もせず、全体の印象から「あれは〇〇だ」と決めつけてしまうことはないでしょうか。よく見ると様々な個性があり、様々な考えや感じ方があるのに、気付く努力をしないで多数の意見や雰囲気全員がそうだと勘違いする…そのような事は教育者として避けなければなりません。

「みんなちがってみんないい」という金子みすゞの詩がありますが、子供は一人一人別なのだという大前提を忘れずに、全体を見ながらも個をしっかり見取っていく姿勢を大切にしていきたいと思えます。

校長 五十嵐 悟

12月 

- 3日(木) いじめ見逃し0スクール集会
- 4日(金) 中学校入学説明会(保護者)
- 7日(月) 学習参観 学年懇談会
- 14日(月) 地域子供会
- 24日(木) 2学期終業式
- ～1月7日(木) 冬季休業





ふた葉班遠足

10月7日（水）に全校で遠足を行いました。今回は天領の里を目指して、6kmの行程を歩きました。歩き始めたときは雲が厚く、降雨が心配されましたが、時間とともに快晴となり絶好の遠足日和となりました。

途中良寛古道に入り、うっそうと茂った山道の木々を眺めたり、昼食後は海岸で波と遊んだり、1日中出雲崎の自然を満喫しました。

校内でオンライン会議

Zoomを使ったオンライン会議に挑戦しました。各教室からネットを介して映像をつなぎ、各学年が10月のめあてと取り組んだ成果についてそれぞれ発表しました。

新型コロナウイルス感染症の再拡大が心配される中、もし仮に感染の拡大が起こっても、少しでも学習を進めることができるよう準備を進めています。今回の試みは児童にとっても職員にとってもICTの可能性に触れる貴重な機会となりました。



資源物回収を行いました

10月17日（土）にPTAによる資源物回収が行われました。業者の都合で昨年度より回収品目が減り、集積場所も公民館に限定した形となりましたが、たくさんの回収品が集まりました。資源物回収による収益は、今後の教育活動に活用させていただきます。

文化厚生部、地区委員を始めとするPTAの皆様、ご協力いただきました地域の皆様、ありがとうございました。



ビデオで読み聞かせ

11月9日（月）から読書旬間が始まります。新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は読み聞かせボランティアさんをお願いして読み聞かせをビデオで撮り、各教室で視聴する形をとらせていただきました。早くコロナが終息し、直に読み聞かせをしていただける日が来るといいなと思います。

